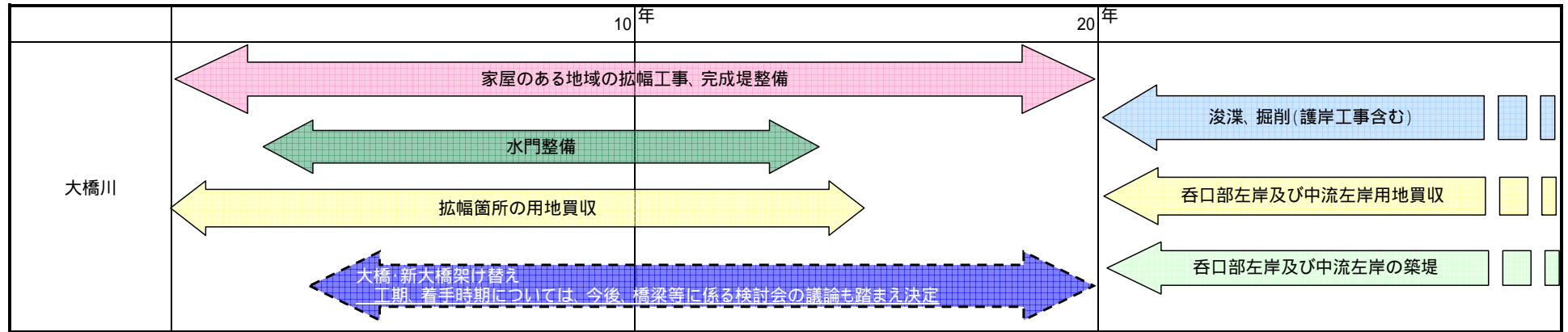


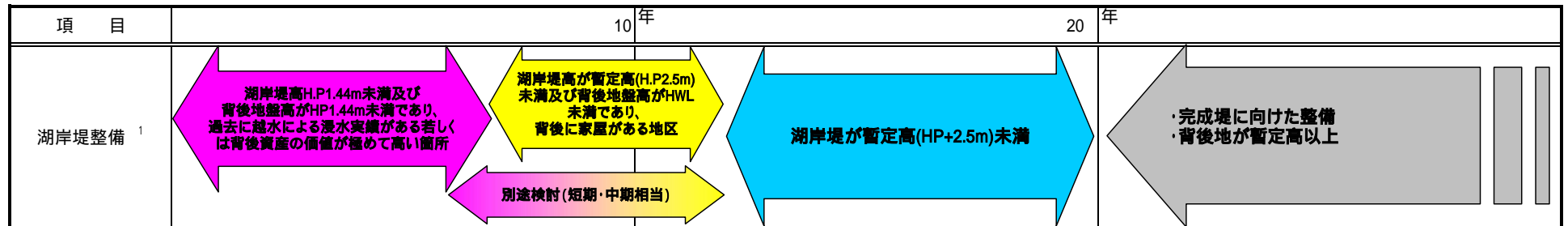
# 大橋川概略工程表

資料 -



戦後最大規模(S47.7)の洪水に対して、家屋浸水を防止

# 中海湖岸堤概略工程表



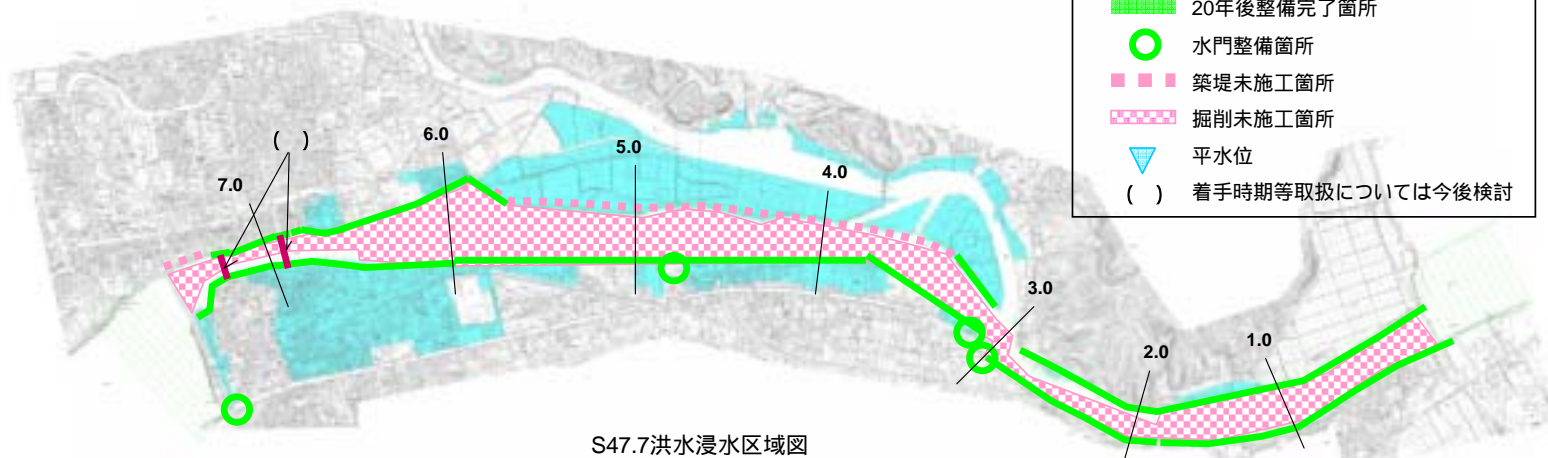
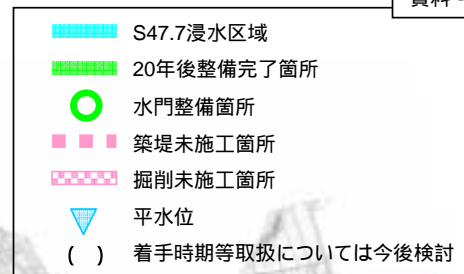
洪水・高潮を含めた既往最大水位時(H15)に浸水しないようにする

1) 境水道については別途検討

注1) 今後の財政状況等により、工程は変わる可能性がある。  
注2) 具体の整備箇所については、被害の状況、地元の要望も踏まえ精査。

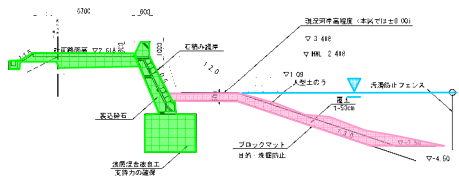
# 大橋川改修20年後の整備状況(イメージ図)

資料 -

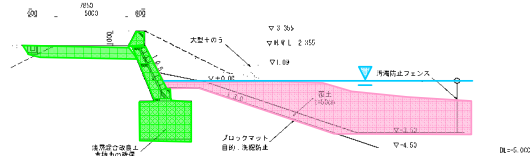


S47.7洪水浸水区域図

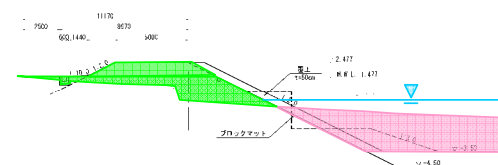
上流左岸(新大橋下流付近)



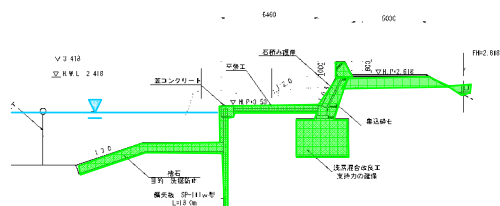
上流左岸(追子団地周辺)



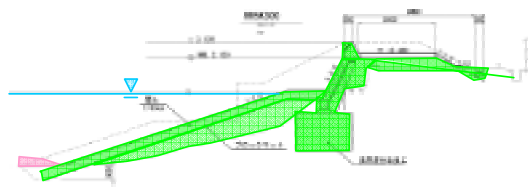
下流左岸(2.0付近)



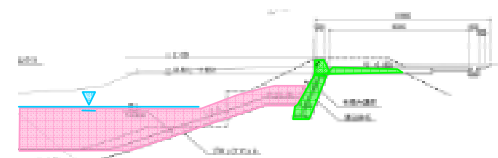
上流右岸(7.0付近)



中流右岸(5.0付近)



下流右岸(2.0付近)



注1) 今後の財政状況等により、工程は変わる可能性がある。

注2) 具体的整備箇所及び形状については、被害の状況、地元の要望も踏まえ精査。

## 中海湖岸堤整備の基本的考え方(案)

### 整備目標 短期整備箇所

湖岸堤高がH.P.+1.44m未満(かつ背後地盤高H.P.+1.44m未満)であり、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後資産の価値が極めて高い(H.P.+1.44m以下の地盤に100人以上居住)箇所。

### 整備目標 - 中期整備箇所

湖岸堤高がH.P.+2.50m未満(かつ背後地盤高HWL )未満)であり、背後に家屋等がある箇所。

### 整備目標 - 中期整備追加箇所

湖岸堤高および背後地盤高がH.P.+2.50m未満の箇所。

### 別途検討

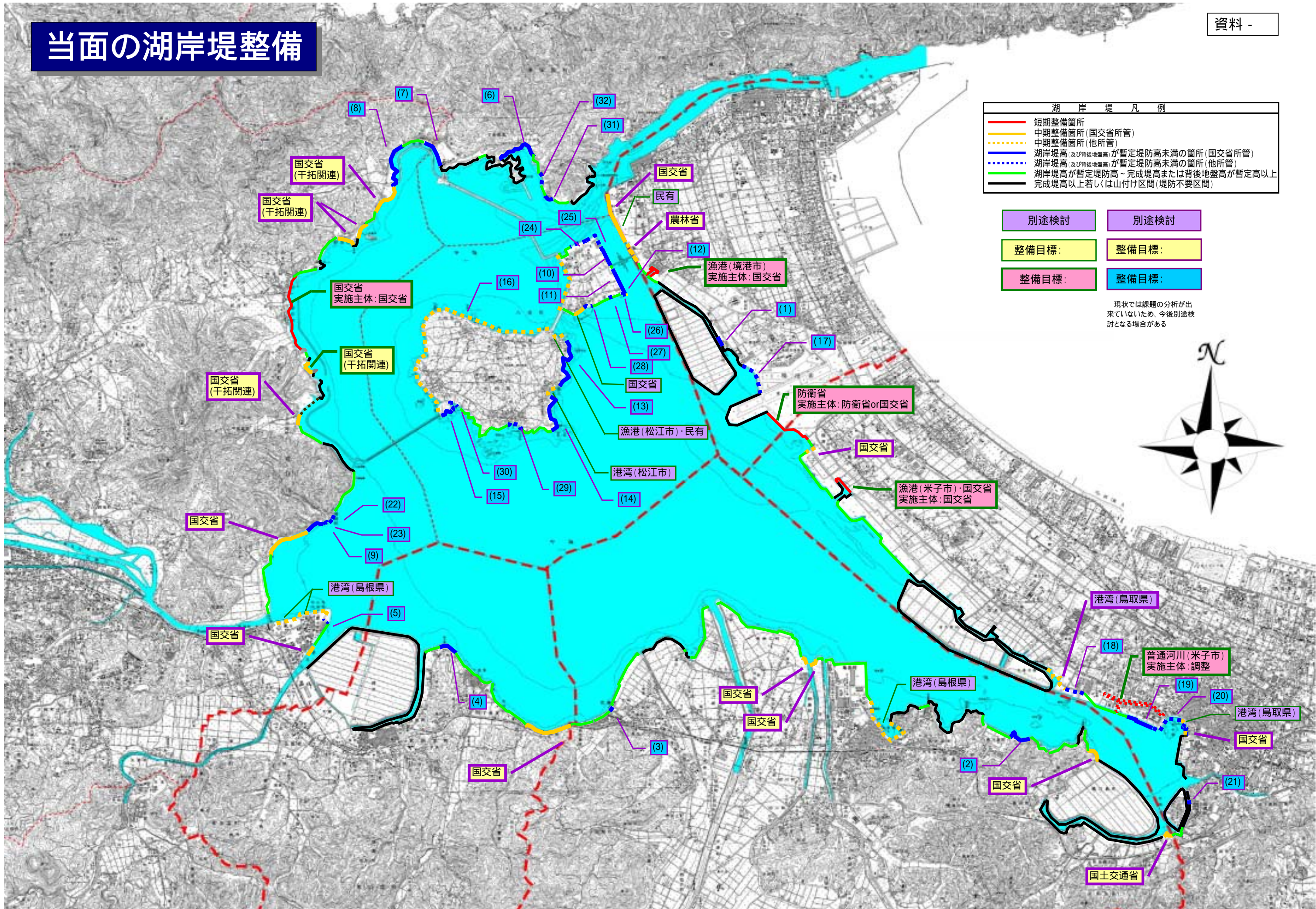
地元調整 / 整備主体 / 管理主体等、整備に向けた課題の解決が必要な箇所等であり、今後も課題の解決に向けて引き続き調整を進める中で、整備の時期も決定する。

) HWLについては、国営中海土地改良事業の中止による条件変更に伴い、H.P.+1.44mからH.P.+1.30mに見直し。ただし、短期整備箇所については変更しない。



# 当面の湖岸堤整備

資料 -



湖岸堤凡例	
— (Red)	短期整備箇所
— (Yellow)	中期整備箇所(国交省所管)
— (Orange)	中期整備箇所(他所管)
— (Blue)	湖岸堤高(及び背後地盤高)が暫定堤防高未満の箇所(国交省所管)
— (Green)	湖岸堤高(及び背後地盤高)が暫定堤防高未満の箇所(他所管)
— (Light Green)	湖岸堤高が暫定堤防高~完成堤高または背後地盤高が暫定高以上
— (Black)	完成堤高以上若しくは山付け区間(堤防不要区間)

別途検討	別途検討
整備目標:	整備目標:
整備目標:	整備目標:

現状では課題の分析が出来ていないため、今後別途検討となる場合がある